

## メラノプシン細胞への選択的な刺激によるコントラスト感度の改善



講師：辻村 誠一 教授

名古屋市立大学大学院

芸術工学研究科 視覚情報処理研究分野

日時：2023年7月24日（月）17:00～

ミーティングID：856 1161 7128

本セミナーはZOOM配信のみとなります。下記URL又はQRコードからログインし、ご拝聴ください。

URL：<https://us02web.zoom.us/j/85611617128>



ヒトの網膜には、錐体細胞、および桿体細胞が存在する。この2種類の光受容器のみによって、ヒトはものを見たり、識別したりしていると長年考えられてきた。一方で、2000年頃にメラノプシン神経節細胞（ipRGC）と呼ばれる新しい視細胞が発見された。メラノプシン細胞は「概日リズムの調整」や「瞳孔の対光反射」、「明るさ感」、「季節性感情障害」、「気分」等に影響することが報告されている。この細胞は光受容器の一種でありながら、視覚系以外の役割も担うと考えられており、その機能はよくわかっていない。

本研究ではメラノプシン細胞のヒトのコントラスト感度への寄与に着目した。コントラスト感度とは、文字や画像の明るさの濃淡の違いを識別する能力であり、視覚系において最も重要な特性の一つである。本セミナーでは、メラノプシン細胞のコントラスト感度への寄与について概説する。

世話人：山川和弘（医学研究科・神経発達症遺伝学分野）

TEL: 052-851-5612, E-mail: yamakawa@med.nagoya-cu.ac.jp